

花きの県別生産出荷概況(2月見通し)

令和2年1月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間		出荷総数 千本	京浜地域向 千本	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	(前年比)	(前年比)	(前年比)					
バラ	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.2 (95%)	500 (97%)	345 (97%)	33	33	33	前橋市 富岡市	日射量が少ない時期であるが、換気温度を高めての積極的な炭酸ガス施用等の管理により品質は良好。目立った病害虫の発生もなく生育は順調である。出荷量については平年並みを見込む。
	愛知	周年	サムライ08 アバランチェ系 ファンシーローラ シンディ	4-3月 () (%)		1,590 (95%)	970 (94%)	35	25	40	ひまわり 西三河 愛知みなみ 豊橋	例年3~5月に行っている植替えを、今年は早期の植替えを行っている(前年11~本年1月)。その影響で出荷量は減。

花きの県別生産出荷概況(2月見通し)

令和2年1月31日現在
出典：花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	休む産地が増えて入荷量は減少。連休あるが、動きは厳しく後半は苦戦(大田)。昨年同月並みの入荷数量だが、安定した相場での販売が続く。愛知・静岡・栃木などから入荷(FAJ)。入荷量は昨年並みで少なめ。上位等級は順調に引き合い強い(世田谷花き)。昨年後半の台風からの天候不順の影響と暖房費高騰で、各産地出荷量が例年に比べて約1~2割ほど少ない(東日本板橋花き)。クリスマス向け赤バラは昨年と比べ弱めの動きだったが作付けの少ない赤スプレーは前月から続けて高単価での取引となった。輸入品の入荷が減少し全体では少ない入荷となった(東京FP)。	
	見通し	大田花き	国産は西南暖地中心の入荷。輸入物は現地の相場を見ながらの入荷が続く。バレンタイン需要中心に、週末の宴会に合わせて相場は堅調に推移する。
		FAJ	バレンタインなどイベント発生。数量は昨年並み程度。引き続き、安定した相場での取引の見込み。
		第一花き	すこし落ち着いた出荷となりそうである。2月バレンタイン時など若干不足感がありそうであるが、3週目以降は増加傾向。
		世田谷花き	暖冬の影響で入荷は少し増える見込み。バレンタイン需要で赤・DP系に引き合い強い。
		東日本板橋花き	低温と日射量の少ない期間が続くため、入荷量に大きな増加は無い見込み。販売はこれといった需要は無いが、全体量少なめなので相場はもちあいで推移していく見込み。
		東京フラワーポート	国内産地は低温期の為少なめの入荷の予想。フラワーバレンタインの需要も見込まれるが輸入品もスポットでの大量の入荷はない予定。
アルストロメリア	現状	愛知は数量回復し、長野・山形は不安定な入荷となった。業務・専門店より問い合わせ多く、中値で推移した(大田)。長野・山形・愛知より入荷。比較的安定した相場での取引続く(FAJ)。各色・階級潤沢。業務中心に引き合いある(世田谷花き)。愛知中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定。天候次第で入荷の増減あり(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	安定した入荷となり、各色で業務、専門店中心に中値での取引となる。
		FAJ	長野・山形・愛知より入荷。比較的安定した相場での取引続く見込み。
		第一花き	ほぼ例年並みである。主だったピークはないが、他の品目が少なそうであり、業務需要などで引き合いはありそうである。
		世田谷花き	下位等級はフェア等でやや減る。
		東日本板橋花き	愛知中心の入荷。天候次第で昨年より入荷の増減あり。